

令和4年6月3日

緑小だより

横浜市立緑小学校 6月号



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

「魅せる！」体育発表会を終えて!!

学校長 能城 順一

令和4年度も、はや6月を迎えることとなりました。先週に配付しました文書「学校における熱中症予防とマスク着用について」の通り、新型コロナウイルス感染症への対応も、新たな局面を迎えている感があります。体育科授業中の運動の場面や登下校での時間帯については、日々気温や暑さ指数も変化していきますので、マスクの着用については、しばらく試行錯誤が続くことと思われます。どうぞ引き続きのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、先月28日(土)の体育発表会は、正に熱中症が心配される中での実施となりました。前日には、急遽保護者の皆様にも「熱中症対策へのお願い」のメールを配信して、様々なご協力をいただきました。学校の方でも、特に第2部と第3部の途中には、冷房の効いた室内での休憩タイムを設ける等の対策を施しました。また、積極的な水分補給や走る前にはマスクを外すこと等への繰り返しのアナウンスも心がけた体育発表会となりました。校長としては、感染症対策と熱中症対策を両立させていく厳しさ、且つ、その中でも子どもたちに達成感を味合わせていなければならぬ難しさを痛感した体育発表会ともなりました。この日の経験を、これからの教育活動にも生かしていきたいと思えます。

令和4年度の体育発表会、今回のテーマには「魅せる！」という言葉が入っていました。この言葉には、「自分たちの練習の成果を見てもらいたい、自分たちの思いを見ている人の心に届けたい」という願いが込められています。特に、子どもたちが多くの時間をかけて創り上げてきた団体演技は「魅せる」というテーマを体現するものです。中でも、5・6年生は、練習の初期段階から「見ている人を意識して！見ている人の心に届いてこそ高学年！観客がいてくれてこそその表現！」との心構えで取り組んでいたため、発表会本番での演技は、私の隣で参観していたPTA会長の櫻井様も、思わず「凄い！」と唸るほどの高みを感じさせる演技となりました。そこで学校便りでは、発表会当日の閉会式で私が話した、5・6年生の演技についてのコメントを改めて記させていただきます。また、子どもたちの振り返りは、今月の「ありがとうのページ」に掲載していますので、そちらも併せて、ぜひご一読ください。子どもたちからの「魅せる！」という思いが伝わってくる振り返りになっていました。

【5年生 ダイナミック MIDORI について】

5年生のエイサーは、本当に素晴らしいと、校長先生は心から感心しました。昨年のエイサーからは、力強さを感じたのですが、今年のエイサーからは「キレ味」というか「メリハリ」というか、一つひとつの動きがキビキビとしていて、本当に「凄い」と思いました。学年全体の構成もよく考えられていて、先生方と実行委員の人たちの知恵と工夫も伝わってきました。校長先生は、これまでエイサーも何度も見てきましたが、ここまで考えられ練られていたエイサーは、初めてです。最高のエイサーでしたよ。

【6年生 緑ソーラン ～みんながリーダー～ について】

6年生の皆さん、今日のソーランは、全校発表会の演技を超えた最高のソーランでした。皆さんの演技の良さは「力強さ」です。正に、力強く緑小を引っ張っていく、下級生の憧れと目標となる最高のソーランを披露してくれました。皆さんのソーランが始まる前、会場の空気が変わったのが分かりましたか？会場がシーンとなり、会場の空気が緊張感に包まれた瞬間です。校長先生は、皆さんの演技を見ている時、鳥肌が立ちました。皆さんの演技に「心を打たれた」のです。皆さんの最高のソーランは、間違いなく見ている人の心に伝わりました。6年生の皆さん、本当にありがとう。そして、体育発表会に向けての様々な準備、本当にご苦労様でした。

もちろん1~4年生までの演技についても、低学年・中学年の目標に十分に到達した内容となっていました。体育発表会を通して「皆と共に創りあげること」への道りを学んだ子どもたち。6月からの日常の学校生活においても、この学びを大いに生かしていくてくれることを期待しています。今月も、本校の教育活動に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。